

第19期事業計画書

自平成26年4月1日

至平成27年3月31日

1. 事業方針
2. 営業計画
3. 予算計画書

1. 事業方針

当社は、八尾市の「八尾市放置自転車の防止に関する条例」に基づく各種施策を推進するため、平成9年3月に八尾市の第三セクターとして設立され、市内の主要駅周辺に設置する自転車駐車場の管理を主要業務にしていますが、設立以来17年を経過し、順調に業務の拡大を図ってきたところであります。今後も八尾市総合計画に掲げる「誰もが安全で安心して住み続けられる八尾」のまちづくりに向けて、「放置自転車の防止」「自転車利用者のマナー向上」を定着させるため、引き続き努力を行ってまいります。

次期の景況につきましては、消費増税後は個人消費、設備投資が一時的に落ち込み、その後徐々に回復は見込めるものの実体経済と市民生活との乖離に加え、経済情勢に対する企業の警戒感強く、また緊迫するウクライナ情勢や南シナ海問題なども影響し、本格的な景気回復には少し時間を要するとみられています。

景気の動向、人口の減少と少子高齢化の進行は当社の経営に与える重要な要因となっておりますが、今後も環境変化に適切に対処するために、利用者の方々の声を謙虚に受け止め、地域に根ざしたきめ細かなサービスに努めるとともに、自転車駐車場の整理等の業務については引き続き、地域高齢者の就労の場として提供してまいります。

また、昨年八尾市が行った3ヵ所の自転車駐車場指定管理者候補者選考の結果、当社は志紀駅前及びJR久宝寺駅南自転車駐車場の指定管理者候補者に選定の後、同指定管理者に指定されましたが、残念ながら近鉄山本駅東自転車駐車場の指定管理者候補者には選定されませんでした。この審査結果を真摯に受け止め、更なる人件費や管理諸経費の削減等に鋭意取り組みながら、健全で安定した経営基盤の強化確立に努めてまいります。

2. 営業計画

(1) 自転車駐車場の円滑な経営について

当社では、市内主要9駅周辺で12ヵ所21施設を管理運営し、八尾市の放置自転車対策の推進に貢献しております。

自転車利用者がいつでも安全で安心してご利用いただくために、利用者のニーズをきめ細かく把握し、お応えできるよう、施設への巡回指導を継続してまいりますとともに、施設の公共性を十分認識し、施設の改修・改善を図り防犯カメラの設置等にも計画的に取り組んでいるところです。

また、自転車駐車場不足による待機者の解消と、利用者の増加による収益の増大を図るため、施設の改良や新たな自転車駐車場用地の確保をめざしてまいります。

今後も引き続き、各自転車駐車場の管理運営については、経費節減に努めるとともに施設の効率的な活用等を図りながら、業績の向上に努めてまいります。

(2) 八尾市庁舎地下駐車場の受託管理について

当社は、平成 14 年 4 月 1 日より八尾市庁舎地下駐車場を八尾市から受託管理し、管理運営を行っています。

次期(平成 26 年度)は、利用料金の見直しに併せ運営負担金についても見直しを行ない経営環境の改善を図るとともに、来庁された市民の皆様が安全で安心してご利用できるよう努めてまいります。

(3) レンタサイクル事業の運営について

都市型レンタサイクル事業は、平成 18 年 4 月に八尾市から移管を受け、8 ヲ所の自転車駐車場において運営しております。

レンタサイクルは、利用者にとって手軽で利便性が高く、駅からの通勤や営業、市内史跡等への移動手段として市民に定着してまいりました。

今後とも、レンタサイクル利用の積極的な情報発信に努め、利用者の利便性や安全性等についても十分配慮しながら運営してまいります。